

三井住友ファイナンス&リース株式会社（2020年グリーンボンド）

契約の種類： アニュアルレビュー

日付： 2021年2月25日

担当者：

Wakako Mizuta, wakako.mizuta@sustainalytics.com, (+81) 3 4571 2343

Marie Toyama, marie.toyama@sustainalytics.com, (+81) 3 4571 2343

はじめに

2020年3月、三井住友ファイナンス&リース株式会社（以下、「SMFL」は、再生可能エネルギー及びグリーンビルディングに関連するプロジェクトへのファイナンス又はリファイナンスを目的とするグリーンボンドを発行しました（以下、「グリーンボンド」）。2021年2月、SMFLはサステナリティクスに対して、グリーンボンドを通して資金の充当を受けたプロジェクトを審査し、これらのプロジェクトが三井住友ファイナンス&リース株式会社のグリーンボンドフレームワーク（以下、「グリーンボンドフレームワーク」）¹で設定された資金使途やレポーティングのクライテリアを満たしているかについて評価を依頼しました。

評価基準

サステナリティクスは、以下の要件について、2020年12月31日時点で調達資金の充当を受けたプロジェクトを評価しました。

1. グリーンボンドフレームワークで設定された調達資金の使途及び適格クライテリアとの適合
2. グリーンボンドフレームワークで設定された各資金使途クライテリアに対する主要業績評価指標（KPI）に関する報告

表1に調達資金の使途、適格クライテリア及びKPIを示します。

表1：調達資金の使途、適格クライテリア及び主要業績評価指標（KPI）

グリーンボンドの発行によって調達された資金は、以下の適格クライテリアのいずれかを満たす新規又は既存の支出及びファイナンスに充当される予定です。子会社である SMFL みらいパートナーズ株式会社が取り組む場合は、同社に対する貸付金が対象となります。

| 調達資金の使途 | 適格クライテリア | KPI |
|-----------|--|---|
| 再生可能エネルギー | 以下の a~e のいずれかの再生可能エネルギー発電事業に係る発電設備の購入、開発、建設、運営等に関する支出及びファイナンス 但し、i)グリーンボンドの発行日から遡って24ヶ月以内に事業を開始したもの、ii)グリーンボンドの発行日以後に事業開始が予定されたものに限定する a. 太陽光発電 b. 風力発電 | 発電量（kwh：出力規格に基づく理論値）及びCO ₂ 排出削減量（t-CO ₂ ：出力規格に基づく理論値） |

¹三井住友ファイナンス&リース株式会社グリーンボンドフレームワークの概要：<https://www.sustainalytics.com/sustainable-finance/wp-content/uploads/2020/02/Sumitomo-Mitsui-Finance-and-Leasing-Green-Bond-Second-Party-Opinion-Japanese.pdf>

| | | |
|------------|--|-------------|
| | c. バイオマス発電（持続可能な原料や植物由来の廃棄物を使ったものに限定） d. 地熱発電 e. 小水力発電（発電量が 25MW 以下のもの） | |
| グリーンビルディング | 以下の a~e のいずれかの環境認証を取得済み又は取得予定の資産の購入、土地取得費、企画開発費、建設費、改修費用等に関する支出及びファイナンス 但し、i)グリーンボンドの発行日から遡って 24 ヶ月以内に竣工された物件もしくは環境認証を取得・更新したもの、ii)グリーンボンドの発行日以後に環境認証の取得が見込まれるものに限定する a. LEED : Platinum 又は Gold b. CASBEE (不動産評価認証又は建築認証) : S ランク又は A ランク c. DBJ Green Building 認証: 5 つ星又は 4 つ星 d. BELS 評価 : 5 つ星又は 4 つ星 e. BREEAM : Outstanding 又は Excellent | 環境認証の種類及び等級 |

発行体の責任

SMFL は、プロジェクトの説明、充当額、プロジェクトによるインパクトを含め、調達資金の充当を受けたプロジェクトの詳細に関する正確な情報及び文書を提供する責任を負います。

独立性と品質管理

投資家に環境・社会・ガバナンス（ESG）とコーポレート・ガバナンスに関する調査・格付けを提供するプロバイダとして業界をけん引するサステナリティクスは、SMFL のグリーンボンドによる調達資金の用途を検証しました。本契約の一環として、同社のグリーンボンドフレームワークとの適合性の確認のため、SMFL の従業員からの文書の収集及び確認を行いました。

サステナリティクスは、調査にあたって、対象プロジェクトに関して SMFL から提示された情報と事実に基づいて依拠しています。SMFL が不正確又は不完全なデータを提供したことにより、本文書で示した見解、調査結果、結論が正確性を欠く場合、サステナリティクスはいかなる責任も負いません。

サステナリティクスは、評価プロセスにおいて最高の品質と厳密さを確保するためにあらゆる努力をし、審査結果の評価にあたっては社内サステナビリティ・ボンド・レビュー委員会（Sustainability Bonds Review Committee）が監督を行いました。

結論

限定的保証プロセスに基づき検討した結果²、すべての重要な側面において、SMFL のグリーンボンドによる調達資金の充当を受けたプロジェクトが、グリーンボンドフレームワークで設定された調達資金の用途及びレポートングクライテリアに適合しないと判断すべき事実は認められませんでした。

² サステナリティクスの限定保証プロセスには、発行体の提供する、調達資金の充当を受けているプロジェクトの詳細に関する文書（プロジェクトの説明、充当額、プロジェクトによるインパクトなど）の調査が含まれます。発行体には正確な情報を提供する責任があります。サステナリティクスはプロジェクトの現地調査は実施していません。

調査結果の詳細

表 2：調査結果の詳細

| 適格クライテリア | 調査手順 | 調査結果 | 特定された過失 または例外 |
|---------------|--|---|------------------|
| 資金使途クライテリア | 2020年12月31日時点でグリーンボンドによる調達資金を充当されたプロジェクトを対象に、グリーンボンドフレームワーク及び上の表1に示されている資金使途クライテリアとの適合性を検証。 | 審査したすべてのプロジェクトは資金使途クライテリアに適合していました。 | 該当なし |
| レポーティングクライテリア | 2020年12月31日時点でグリーンボンドによる調達資金を充当されたプロジェクトを対象に、プロジェクトによるインパクトがグリーンボンドフレームワーク及び上の表1に示されているKPIと適合する形で報告されたかを検証。報告されたKPIの一覧は参考資料2を参照。 | 審査したすべてのプロジェクトは関連するKPIについてレポーティングクライテリアに従って報告されていました。 | 該当なし |

参考資料

参考資料 1：審査対象のプロジェクトカテゴリー一覧

| # | プロジェクトカテゴリー | サブカテゴリー | プロジェクト数 | リファイナンスプロジェクトの ルックバック期間 |
|---|-------------|---------|---------|--|
| 1 | 再生可能エネルギー | 太陽光発電 | 1 | グリーンボンドの発行日以後に 事業開始を予定 ³ |
| 2 | 再生可能エネルギー | 風力発電 | 1 | グリーンボンドの発行日から遡って 24ヶ月以内に事業開始 |

参考資料 2：プロジェクトのインパクト一覧

| # | プロジェクトカテゴリー | サブカテゴリー | プロジェクト数 | 発電量 (kwh) ⁴ | CO ₂ 排出削減量 (t-CO ₂) ⁵ |
|---|-------------|---------|---------|---------------------------|--|
| 1 | 再生可能エネルギー | 太陽光発電 | 1 | 0 | 0 |
| 2 | 再生可能エネルギー | 風力発電 | 1 | 47,391,437 | 22,274 |

³ 当該プロジェクトは、2021年4月以降に運転開始を予定しています。

⁴ 出力規格に基づく理論値をベースに運転開始時期から基準日(2020年12月31日)までの日数で算出しています。太陽光発電に関するプロジェクト1件については、運転開始が2021年4月以降となる為、発電量は0kwhとなります。

⁵ 出力規格に基づく理論値をベースに運転開始時期から基準日(2020年12月31日)までの日数で算出しています。太陽光に関するプロジェクト1件については、運転開始が2021年4月以降となる為、CO₂ 排出削減量は0t-CO₂となります。

免責事項

© Sustainalytics 2021 無断複写・複製・転載を禁ず

本書に包含又は反映されている情報、手法及び意見は、サステナリティクス及び／又はその第三者供給者の所有物（以下、「第三者データ」）であり、サステナリティクスが開示した形式及びフォーマットによる場合又は適切な引用及び表示が確保される場合のみ第三者へ提供されます。これらは、情報提供のみを目的として提供されており、（1）製品又はプロジェクトの保証となるものではなく、（2）投資助言、財務助言又は目論見書となるものではなく、（3）有価証券の売買、プロジェクトの選択又は何らかの種類の商取引の実施の提案又は表示と解釈してはならず、（4）発行体の財務業績、金融債務又は信用力の評価を表明するものではなく、（5）いかなる募集開示にも組み込まれておらず、組み込んではありません。

これらは、発行体から提供された情報に基づいたものですので、これらの商品性、完全性、正確性、最新性又は特定目的適合性は保証されていません。情報及びデータは、現状有姿にて提供されており、それらの作成及び公表日時点のサステナリティクスの意見を反映しています。サステナリティクスは、法律に明示的に要求されている場合を除き、いかなる方法であっても、本書に含まれた情報、データ又は意見の使用に起因する損害について一切責任を負いません。第三者の名称又は第三者データへの言及は、かかる第三者に所有権があることを適切に表示するためのものであり、その後援又は推奨を意味するものではありません。当社の第三者データ提供者のリスト及びこれら各者の利用規約は、当社のウェブサイトに掲載されています。詳しくは、<http://www.sustainalytics.com/legal-disclaimers> をご参照ください。

発行体は、自らが確約した内容の確実な遵守とその証明、履行及び監視について全責任を負います。

本書は日本語で作成されました。日本語版と翻訳版との間に矛盾もしくは不一致が生じた場合は日本語版が優先されるものとします。

サステイナリティクス（モーニングスター・カンパニー）

サステイナリティクスは、モーニングスター・カンパニーであり、環境・社会・ガバナンス（ESG）とコーポレート・ガバナンスに関する調査、評価及び分析を行う独立系機関であり、責任投資（RI）戦略の策定と実施について世界中の投資家をサポートしています。ESG 及びコーポレート・ガバナンスに関する情報及び評価を投資プロセスに組み込んでいる、数百に及ぶ世界の主要な資産運用会社や年金基金を支援しています。また、多国籍企業や金融機関、各国政府を含む世界の主要な発行体に、グリーンボンド、ソーシャルボンド、サステナビリティボンドのフレームワークに対する信頼性の高いセカンドパーティ・オピニオンを提供しています。2020 年には、Climate Bonds Initiative により、3 年連続で「気候ボンドのレビューにおける最大の認証機関」に選ばれたほか、Environmental Finance 誌により、2 年連続で「最大の外部レビュー機関」に認定されました。詳しくは、www.sustainalytics.com をご参照ください。



Named
2015: Best SRI or Green Bond Research or Rating Firm
2017, 2018, 2019: Most Impressive Second Opinion Provider

